

外部団体と連携した防災教育プロジェクト

特別支援学校PTA学習会での防災学習

大震災の被害を少なくするためには、家庭での防災対策も重要です。家庭での防災が、学校・地域での防災対策について考える第一歩となるよう、体験談や実際にグッズを手にとれる内容で実施しました。

■協力団体

NPO法人プラス・アーツ、NPO法人日本トイレ研究所

■内容

第一部

お話「地震の基礎知識と家庭でできる防災対策について～起こりうる首都直下地震に備えて～」

- ・地震の基礎知識、
- ・家庭でできる防災対策
- ・非常食について

食べなれているもので対応できる循環型ストック法について

- ・阪神・淡路大震災や東日本大震災の避難所について
- ・身近なものでできる応急手当の実演

第二部

参加者が3グループに分かれ、20分ずつ3つのコーナーを体験、質疑応答、相談。

①家具転倒防止ワークショップ

阪神・淡路大震災のけが人の半数近くが家具の転倒が原因だった。キットを用いた防災対策の効果実験と、実際の転倒防止器具の使い方を学ぶ。

②防災グッズ

実際の防災グッズを手にとりながら、これまでの災害時の例を紹介し、どのような場面で役立つか、より使いやすくするための工夫や応用方法等を学ぶ。

③トイレ

被災地でのトイレの状況報告、簡易トイレの使い方、ビニール袋と新聞紙を使ったトイレの作り方について学ぶ。



支援団体情報（URL 等）

NPO法人プラス・アーツ <http://www.plus-arts.net/>